

普及現地情報



発信年月日：令和4年(2022年)6月7日

所属名：湖東農産普及課

番号：F22004

部門分類：425

発信者名：籠、富岡、和田

集落営農法人の連携研修会を開催しました

集落営農法人連携組織「河瀬アグリネット」では4法人（ファーム犬方、つづらファーム、河瀬西部営農組合、KGファーム）による農業機械の共同利用について協議を始めています。6月2日、これからの連携に向けた合意形成や意識醸成を円滑に進めていくために、先進事例紹介や意見交換ワークショップを交えた研修会を実施しました。

当日は、大阪経済大学情報社会学部の山本公平教授を講師として招き、支援指導をいただきました。まず当課より、令和3年度の各集落営農法人の農作業機械の利用実績について報告し、機械共同利用の可能性について示した上で、山本教授より、広島県の複数集落営農法人による機械共同利用の具体的な事例について講義がありました。その後、共同利用の方策・方針について各法人で意見交換ワークショップを行いました。各法人には当課かJAの職員がつき、意見交換が円滑に行えるよう支援しました。意見交換ワークショップでは機械共同利用について前向きな声が聞かれたほか、共同保有の現実性を問うなど様々な意見が出ました。

今回の研修会で抽出された各法人の意見を踏まえた上で、本組織での取組が実践されるよう支援していきます。



意見交換ワークショップの様子